



# 学校だより

【教育目標】 学ぶ心 思う心 挑む心

令和7年度 第10号

神林中学校(☎66-5313) 令和8年2月27日

## 第2回生徒総会 新生徒会へバトンタッチ

2月10日(火)午後 令和7年度第2回生徒総会を行いました。

この生徒総会は、今年1年の生徒会活動を振り返り、来年度への引継ぎを行う、生徒会の卒業式です。

今回の生徒総会は寒波の襲来とインフルエンザの流行のため、リモートで行いました。

配信会場を被服室とし、今年度、神林中学校を引っ張ってきた生徒会のリーダーが、様々な活動や行事の振り返りを発表し、その成果や課題を確認しました。

その後、質疑が行われ、たくさんの生徒が堂々と自分の意見を述べていました。質問を受けたリーダー達も、質問へ誠実に回答するとともに、より良い生徒会になるために来年度のリーダーに望むことを真剣に回答していました。

総会の後には、令和8年度の生徒会執行委員、専門委員長の任命式と令和7年度の生徒会役員から令和8年度生徒会役員への引継ぎ式が行われました。神林中の先頭に立つリーダーが引き継がれました。

新しい役員の新仕事は3年生への感謝を表す活動です。3年生の皆さん、1年間ありがとうございました。

1、2年生の皆さんには、新しい神林中を作っていくってほしいと思います。

### 令和8年度 生徒会執行委員、専門委員長

#### 執行委員

河内 里奈	小池 京
五十嵐晴翔	佐藤 奏澄

学級委員長	阿部 美波
放送委員長	亀井 朔
図書委員長	小林 姫衣菜
保健委員長	遠藤 琴葉
環境委員長	板垣美咲希
学習委員長	坂川 翠
生活委員長	中山 心結



新旧執行部

2026/02/10 15:48



新旧委員長

2026/02/10 15:50

## 3年生への感謝を伝える 「3年生を送り出そう企画」

これまで学校を引っ張ってくれた3年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、来年度のリーダーが中心となって行う最初の活動として、「3年生を送り出そう企画」を行いました。新委員長を中心に、各委員会で1、2年生が計画した様々な企画を通して、全校生徒の優しい思いが学校を包み込んでいました。

### 各委員会の企画

#### 図書委員会【3年生に折り紙で感謝の気持ちを伝えよう！】

- ・メッセージに飾り付けをした桜の折り紙を3年生一人一人に渡す。

#### 生活委員会【3年生ありがとうWEEK】

- ・1週間3年生に昼休み体育館を使ってもらう。

#### 保健委員会【感謝と健康プレゼントティッシュ】

- ・お世話になった3年生に感謝のメッセージ入りのポケットティッシュをプレゼントする。

#### 放送委員会【3年生リクエスト曲】

- ・3年生に好きな曲のアンケートをしてその曲を放送で流す。

#### 学級委員会【3年生ありがとうラブレター】

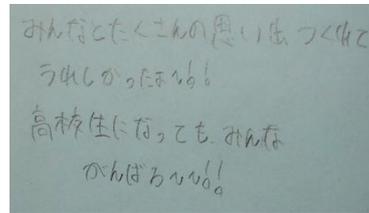
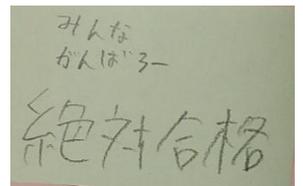
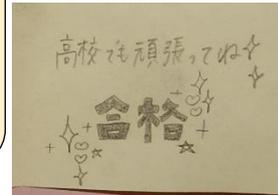
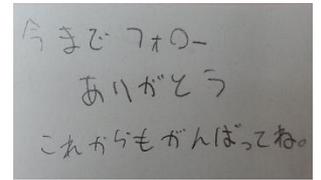
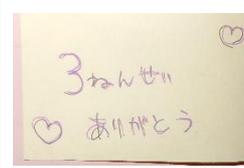
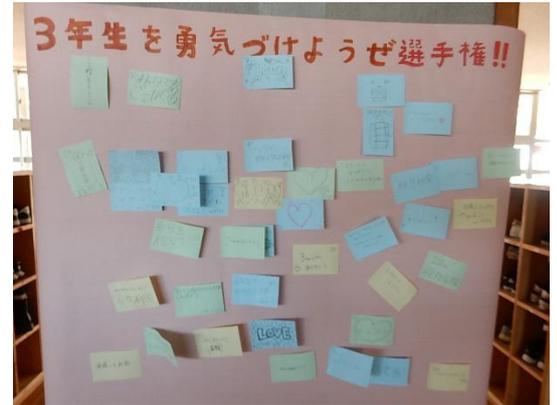
- ・3年生への感謝の気持ちを書いたメッセージカードを3年生一人一人の机に置いて渡す。

#### 環境委員会【メッセージの木】

- ・各学年に桜の付箋を配り、メッセージを書いて玄関の桜の木に貼ってもらう。

#### 学習委員会【3年生を勇気づけようぜ選手権！！】

- ・付箋に3年生への感謝の気持ちを書いて玄関の紙に貼ってもらう。



## まちづくり協議会の皆様から卒業生へのプレゼント

3年生の卒業を祝って、2月26日、神林地区の5つのまちづくり協議会（神納、神納東、西神納、平林、砂山）から、玄関に花を飾っていただきました。淡い色の花の寄せ植えで、優しい気持ちになる花です。この花たちに見守られて穏やかな気持ちで卒業式を迎えられそうです。まちづくり協議会の皆様、ありがとうございました。



## 今年度最後の定期テストを行いました。



2月5日(木)～6日(金)第4回の定期テストを行いました。前回のテストから冬休みをはさんで約3ヶ月の学習を終えてのテストでした。朝、ノートやワークをもってスクールバスを降りてくる生徒が何人もいました。「勉強してきたんだね。」と声をかけると、「最後まで頑張ります。」という声がか返ってきました。休み時間には、クイズ形式で問題をかけ合う姿やじっとワークをのぞき込む姿、ワークをのぞき込みながら階段を上る生徒もいました。中学生の主食である勉強に真剣に向き合う姿を見て、一人一人の成長を感じました。



# 神林公民館主催の「親力アップ講座」講演会

1月22日の新生保護者説明会終了後、神林公民館主催の「親力アップ講座」を行いました。新潟県教育委員会下越教育事務所スクールソーシャルワーカーの滝波厚子様は、「思春期の入り口に立つ小6から中1へ成長する子どもとの向き合い方～『守る』から『信じて見守る』への転換期～」と題して御講演いただきました。滝波様からは、医療現場での勤務や様々な子どもたちや家庭に対応したご経験から、中学生になる子どもたちに接する上で大切にしたい考え方や親の役割、関わり方についてお話いただきました。思春期は「心と体が急成長する時期」「脳内の成長のアンバランスから本能を抑えきれなくなること」「他と関わる場面が一気に増え、人間関係が複雑化すること」を挙げ、子どもへの対応が難しくなり親が戸惑うのは自然で、「子どもへの関わり方を変える必要がある。」とお話しになっていました。そして、親の役割と立ち位置について、「小学校前半は子どもの代弁者となって前に立つ。」「小学校高学年は伴走者として横に立つ。」「中学校から高校は子どもの安全基地となって、中学校では後ろで、高校では離れて見守る。」として、学校ではたくさんの人の中で我慢や緊張をして頑張っている生徒にとって、「家（親）は素に戻れる安全基地であってほしい。」とお話しになりました。



また、中学生への望ましい対応として、「途中で話しかけず、最後まで話を聞く。」「正しさを諭すのではなく、気持ちを受け止める。」「親が結論を出すのではなく、どうしたいか聴く。」「すぐに相手や学校に介入するのではなく、家を安心の場にする。」「親が前に出て解決するのではなく、必要なら相談先と一緒に考える。」を挙げ、子どもの「自分で立つ力」を育てる対応をしてほしいと話されました。また、親として、結果や評価だけを褒める「条件付きの承認」ではなく、頑張ったこと、頑張った過程を認め、思いを受け止める「無条件の承認」をしてほしい。子どもを信じてほしいと話されました。そして、「信じるとは、失敗しないと信じるのではなく、立ち直る力があると信じる」というお話をいただきました。

<p><b>親の役割の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢とともに立ち位置が変わる</li> <li>中学生は「安心の場」</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>低学年 前に立つ (代弁)</td> <td>高学年 横に立つ (伴走)</td> <td>中学生 後ろに立つ</td> <td>高校生 離れて見守る (安全基地)</td> </tr> </table>	低学年 前に立つ (代弁)	高学年 横に立つ (伴走)	中学生 後ろに立つ	高校生 離れて見守る (安全基地)	<p><b>家と学校の「二つの顔」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家で荒れる = 外で頑張っている</li> <li>家は安全基地、「素に戻る場所」</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #ffff00;"> <p><b>【学校の顔】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中で頑張る</li> <li>評価を気にする</li> <li>我慢・緊張</li> <li>役割を演じる</li> </ul> </div> <div style="font-size: 2em;">⇄</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #ffff00;"> <p><b>【家の顔】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>甘えられる</li> <li>本音が出る</li> <li>感情が爆発する</li> <li>安心して崩れる</li> </ul> </div> </div> <p>どちらも「本当の姿」</p>								
低学年 前に立つ (代弁)	高学年 横に立つ (伴走)	中学生 後ろに立つ	高校生 離れて見守る (安全基地)										
<p><b>OK / NG 対応</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>OK対応</th> <th>NG対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最後まで話を聞く</td> <td>話の途中で口を挟む</td> </tr> <tr> <td>気持ちを受け止める</td> <td>正しさを諭す</td> </tr> <tr> <td>「どうしたい？」と聞く</td> <td>親が結論を出す</td> </tr> <tr> <td>家を安心の場にする</td> <td>すぐ学校・相手に介入</td> </tr> <tr> <td>必要なら相談先と一緒に考える</td> <td>親が前に出て解決</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>親が前に出すぎると、子どもは「自分で立つ力」を失ってなくなる</small></p>	OK対応	NG対応	最後まで話を聞く	話の途中で口を挟む	気持ちを受け止める	正しさを諭す	「どうしたい？」と聞く	親が結論を出す	家を安心の場にする	すぐ学校・相手に介入	必要なら相談先と一緒に考える	親が前に出て解決	<p><b>まとめメッセージ</b></p> <p>信じるとは 失敗しないと信じるのではなく <u>立ち直る力があると信じる</u></p>
OK対応	NG対応												
最後まで話を聞く	話の途中で口を挟む												
気持ちを受け止める	正しさを諭す												
「どうしたい？」と聞く	親が結論を出す												
家を安心の場にする	すぐ学校・相手に介入												
必要なら相談先と一緒に考える	親が前に出て解決												

## 参加した皆様のアンケートより

- もう見守る立ち位置にならないといけなく思っていました。ついつい失敗させたくなく、正解を教えてしまっていました。信じることは、失敗しないと信じるのではなく、立ち直る力があると信じる。それを忘れずに実行していこうと思いました。
- 頭の中ではわかっている、話を途中まで聞いて正論を言うてしまうことがあるので、まずは子どもの話を最後まで聞くことを確実にしていき、トラブルの時は一緒に考えていきたい。「親は前に出すぎない」をしていきたいです。
- 今回の事例を聞き、身に覚えのあることもあり、ハッとさせられました。中学生になる我が子を信じ、少し後ろから見守ることができる親になれるように頑張りたいです。

# 新統合中学校 校名「穂波(ほなみ)中学校」

神林中学校と岩船中学校の統合により誕生する新中学校の名称は、「穂波(ほなみ)中学校」に決定いたしました。この校名は、両地域の誇りである情景を象徴するとともに、そこで学ぶ生徒たちの未来への願いが込められています。

## 1. 校名の由来と情景

「穂波」という言葉には、二つの地域の美しい風景が凝縮されています。

「穂」：秋になると神林地域一面に広がる、黄金色に輝く豊かな田園の稲穂。

「波」：夕日にきらめき、岩船の港や海岸線に打ち寄せる日本海の波。

村上市民憲章にも「稲穂わたる風」「夕日きらめく波」と綴られているように、私たちが誇りとする「ふるさとの情景」をそのまま校名に冠しました。岩船地域と神林地域で培ってきた伝統や誇りを大切にしながら、地域を越えて一つになる新しい学校としての独自性を表現し、従来からある名称にはこだわらない校名としています。

## 2. 生徒たちへの願い

「穂波」という名には、稲穂のようにしなやかに、そして波のようにたくましく育ってほしいという願いが込められています。

稲穂の如く実り多く：豊かな自然と温かな地域コミュニティの中で、日々の学びを積み重ね、多様な価値観に触れながら、一人ひとりが豊かな人生の実りを結べるように。

大海原へ漕ぎ出す波のように：刻々と変化する時代の中でも、形を変える波のように柔軟に対応し、変化を恐れず、自らの個性を発揮して力強く未来を切り拓いていけるように。

[岩船中学校・神林中学校統合推進委員会だより より]

## 学校運営協議会・学校保健委員会を行いました。

2月18日、今年度最後の学校運営協議会と学校保健委員会が行われました。授業参観の後、後期の学校評価について報告し、今年度の神林中学校の教育活動についてご意見をいただきました。

その後、学校薬剤師 鈴木さわ子様にお越しいただき、運営協議会の皆様とともに、学校保健委員会を行いました。生徒の体格や健康、運動、生活習慣等の状況について報告し、神林中学校の生徒の長所や取組の成果、課題などについてご意見をいただきました。今回いただいたご意見をしっかりと受け止め、来年度の教育活動の改善に確実に生かしていきたいと思っております。

今年度の学校運営協議会は今回が最後でした。委員の皆様ありがとうございました。

### 令和7年度神林中学校学校運営協議会委員 (敬称略)

会長	八藤後瑞枝 (神林地区まちづくり連絡協議会会長)
副会長	佐藤 憲明 (神林中学校PTA会長)
委員	内山 秋善 (神林地区関係人口創出事業実行委員会会長)
委員	森田 和之 (神林地区民生委員児童委員会会長)
委員	佐藤 巧 (神林地区区長会会長・松沢区長)
委員	野澤 直美 (元砂山小学校PTA副会長)
委員	遠山 道昭 (元神林中学校PTA会長)
委員	近 さと子 (民生委員児童委員)
委員	木村 竜也 (神林中学校地域コーディネーター)
委員	鴻島 雅彦 (神林支所地域振興課課長補佐)
委員	田村 富夫 (神林教育事務所 所長)
委員	横山 雅史 (神林中学校校長)
委員	渡辺 利一 (神林中学校教頭 事務局)
委員	清治麻衣子 (神林中学校事務職員)

## 3月~4月の予定

3月 3日 火	3年生3、4限入試指導後放課 (13:40)	4月 6日 月	始業式 新入生オリエンテーション
4日 水	公立高校一般入試学力検査	7日 火	入学式
5日 木	卒業式練習、準備 (3年給食後放課)	8日 水	発育測定 全校集会
6日 金	第7回卒業証書授与式	9日 木	生徒会入会式
11日 水	5限授業参観 PTA懇談会	15日 水	NRT標準学力検査
12日 木	公立入試合格発表	17日 金	内科検診 PTA理事会、評議員会
19日 木	生徒会専門委員会	20日 月	3年修学旅行 (22日まで)
16日 月	~23日 金 3限授業給食無し	23日 木	全国学力学習状況調査 (3年)
24日 火	終業式 離任式	28日 火	オープンスクール PTA総会
25日 水	学年末学年始休業開始 (~4/5)	30日 木	4限授業 給食後放課

25日から冬バスは運行しません。